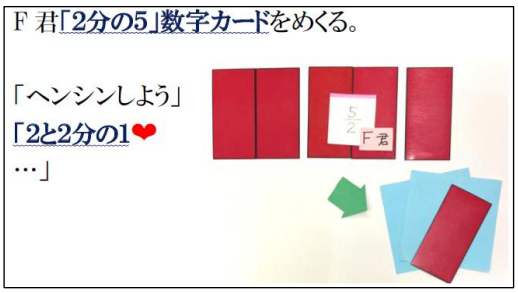
仮分数・帯分数カードの使い方

支援学級など、十分な操作活動を取り入れて

準備物　カード（数字・タイルの同じ量が４枚ずつ）
　　分数タイル（2バー～８バー）
　　整数タイル（1）

遊び方　①カードを裏返して真ん中に置く
　　②順番にカードを引いて、数字でもタイルでも声に出して数詞を言う（読む）。
　　③引いたカードの分だけ入れ物からタイルを取り出す（仮分数のカードを引いた時、仮分数でも帯分数でも自由にタイルを選べる。帯分数カードの時も同様）。
　　③カードを引いた子が並べるまで他の子は待つ。
　　④並べたタイルの上に引いたカードを置く。
　　⑤続いてカードを引き同様に並べる。

　　⑥引いたカードを並べた時、机上に同じ大きさの分数カードがあれば、気づいた子がタイルをもらえる。



　　⑦机上にカードがなくなったら終わり。手持ちの整数タイルの枚数を数えて、多い者の勝ち。

通常学級など三者関係の習熟をめざして

準備物　カード（数字・タイル・数詞の三種類のカード）

遊び方

〈カルタ遊び〉3 人～5 人

①数詞のカードを読み札にして、タイルと数字のカードを表向きに並べる。

②読み手が数詞のカードを読んだらタイルと数字のカードを取る。
　（この時、仮分数を読んでも同じ大きさの帯分数も取っていいかどうかは授業のねらいでルールを決めておく）

③最後まで読んで、拾い札が多い者が勝ち。

※読み手が、仮分数を読んだときは帯分数のカード、帯分数を読めば仮分数を取るルールにしてもいい。

〈神経衰弱〉

①タイル・数字・数詞のカードを裏返して並べる。

②一人が 3 枚ずつめくって同じ分数だともらえる。

③カードがなくなるまで繰り返して、たくさん取った者の勝ち。